

あとがき

感じたり・気づいたり・話し合ったりできる「1冊」が欲しい!

○さかなも人間も同じ地球に生まれ、それぞれの特徴を育て、互いにかかわりを持ち、生きて、育ち、次の世代へとつながっていく。

だから、人間はひとり一人特徴がある。さかなもいろいろな種類があり、場所や季節や人とのかかわりでも違っている。

○さかなって、すごい! 人間もすごい! 地球もすごい! お互いの関係もすごい!

だから、小さなさかなも大きなさかなも大切に、食べる時は分け合って、味わっていただくことが大事なんだ!!

○地球のシンボルとして、さかなとも切り離せない「みず」を取り上げたい。

みず(の妖精)は、人間寄りでもさかな寄りでもなく、両者の間をつなぐ(両者の多様性を生かし、公平に包み込む)イメージ作りに有効と考えられるからです。また、多様なくらしや環境下で生きている“多様な子ども”がいることを重視し、特定の個人や家族のタイプにこだわらないことにもつながります。

こうしたことを、幼児も、触って、見て、聞いて、感じて、まわりの大人たちとも共有できる「1冊」をつくりたい!

子どもたちの自由な発見のうれしさ、“やりたい!”につながる内容で!

子どもたち自身がやりたいこと、やらねばならないと感じたことが“実行できそう”“友達や大人たちへも伝えたい”という気持ちが育つといい!

感性豊かで、新しい出会いを吸い取るように自分の中にしみこませていく幼児期だからこそ、たくさんの入り口があって、多様な展開ができる「1冊」がほしい!

多分野の専門家による研究プロジェクトが企画

2003年に一般財団法人東京水産振興会の事業として開始された『さかな丸ごと食育』の研究と、その成果を基礎に作成した『さかな丸ごと探検ノート』(日本語・英語版)はすでに全国の食育活動等で活用されています。

その第2弾として、今回の絵本開発研究は、2018年に開始された『「さかな・乳幼児の食事・食を営む力や生きる力の形成・環境のかかわり」に関する食生態学的研究』の一環です。冒頭の「こんな1冊が欲しい」のコンセプトや枠組みを作成しました。

研究プロジェクトメンバーは、右記の通りです。

大事なメッセージを大切な子どもたちに届ける絵本の企画のためには、コンセプトや内容の科学的・実践的根拠が問われます。メンバーにより、課題について理論と実践の両面から複眼的・総合的に検討がすすめられました。

そして、若手6人が「こんな1冊が欲しい」のコンセプトを展開し、研究会として絵本に入れ込みたい内容をまとめて「さかなとみずとわたしたち」というタイトルをつけ、スギヤマカナヨ氏へ絵本の制作の依頼をしたのでした。

氏はすでに、前記の『さかな丸ごと探検ノート』の表紙と、全頁を俯瞰する「さかなと人間と環境の循環図」の絵を描いて下さっている絵本作家です。

キーワードは“まるまる”

スギヤマカナヨ氏が、仕上げてくれた絵本は『まるまるみんないただきます!〜かわも うみも やまも さかなも〜』。

研究メンバーはこのタイトルからイメージされる、生き生きしてダイナミックな“まるまる”に驚き、喜びました。キーワードは“まるまる”。

人もさかなも川も海も山も関係しながら循環していく。持続可能に循環して、一人残らずの子どもたちにこの1冊も届いていく……!!

今、世界中の人びとが共有するSDGsの視野・視点を先取りして進めてきた実績を持つ研究プロジェクトと絵本作家グループの“直結コラボ”(「科学と芸術」Sciences & Artsの両面からの融合)で生まれた「1冊」です。学術の世界から見ても、食教育教材開発に「新しい窓」を開くことができたのではないかと、自負しています。

この「1冊」を全国各地のさまざまな活動グループが活用し、それぞれのグループのパワーアップにつながるといいな、と願います。

もちろん、この「1冊」をメッセンジャーに、新しい活動グループが生まれ、新しい“まるまる”の輪がグーンと広がるといいな、と願います。「まるまる」余すことなく存分に活用してもらい、希望のある未来につなげてもらいたいと思っています。

最後になりましたが、研究プロジェクトと絵本作家グループとの“直結コラボ”という、学術的にも先進的な企画を理解して、自由な検討の機会を与えてくださった一般財団法人東京水産振興会渥美雅也会長をはじめ、関係して下さった多くの方々に感謝します。

そして、本書企画の基礎調査に子どもたちを含む園ぐるみで協力いただいた全国各地の保育園・幼稚園・こども園、関連する行政・NPO/NGO等の皆様に感謝いたします。

「さかな丸ごと食育」幼児研究プロジェクトを代表して
足立 己幸

「さかな丸ごと食育」 幼児研究プロジェクトメンバー

(五十音順)

會退 友美

東京家政学院大学 人間栄養学部助教
(栄養教育学、管理栄養士)

安達 内美子

名古屋学芸大学 管理栄養学部教授
(食生態学・栄養教育学、管理栄養士)

足立 己幸

女子栄養大学名誉教授・名古屋学芸大学名誉教授
(食生態学・食教育学、管理栄養士)

斉藤 恵美子

東京家政学院大学 人間栄養学部教授
(小児科学、医師)

酒井 治子

東京家政学院大学 人間栄養学部教授
(地域栄養教育学、管理栄養士)

林 薫

白梅学園大学 子ども学部教授
(小児栄養学・家庭科教育)

原 光彦

和洋女子大学 家政学部教授
(小児科学・臨床栄養学、医師)

東 あかね

京都産業大学 保健管理センター所長
(公衆衛生学、医師)

平本 福子

宮城学院女子大学名誉教授
(調理教育学、管理栄養士)

森 眞理

神戸親和女子大学 教育学部教授
(保育・幼児教育学、保育士・幼稚園教諭)

吉本 優子

京都府立大学大学院 生命環境科学研究科准教授
(栄養教育学・公衆栄養学、管理栄養士)